

第15回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時：平成27年9月30日(水) 10:00～12:00

場所：KKR甲府ニュー芙蓉 アメジストホール

■委員会出席者

山梨大学大学院 教授	佐々木 邦明(委員長)
山梨県タクシー協会長	大木 政
山梨県バス協会専務理事	中谷 晃
山梨県トラック協会長	坂本 政彦
山梨県経済同友会代表幹事	入倉 要
甲府商工会議所卸売商業部会部会長	遠藤 一郎(代理：副部会長 有野)
日本自動車連盟山梨支部事務所長	武田 文宏
山梨県交通安全協会専務理事	北村 正彦
山梨県交通安全母の会連合会長	池田 春子
中日本高速道路(株)八王子支社 企画調整チーム担当リーダー	角谷 俊彦
交通管制チームリーダー	折野 好倫
甲府保全・サービスセンター所長	佐々木 拓次(代理：副所長 石田)
国土交通省関東運輸局首席運輸企画専門官	岡村 清二
山梨県観光部観光企画・ブランド推進課長	仲田 道弘
山梨県県土整備部道路整備課長	丹澤 彦一(代理：道路企画監 望月)
山梨県県土整備部道路管理課長	高井 達也(代理：課長補佐 風間)
国土交通省甲府河川国道事務所長	田中 克直
山梨県警察本部交通部交通規制課長	岩柳 治人(代理：規制第一係長 三枝)
国土交通省関東地方整備局道路部	丸山 昌宏

■議事内容

<交通円滑化関係>

- ・これまでの検討経緯
- ・渋滞対策の進捗状況確認
- ・最新の交通状況による分析
- ・対策済箇所の効果確認
- ・優先対策箇所の検討状況
- ・道路を賢く使う対策の実施状況

<交通安全関係>

- ・H27事故危険区間の追加箇所の確認について
- ・事故危険区間の事業進捗状況について

■審議結果

●交通円滑化関係

<決定事項>

- ・優先対策箇所の選定、要因分析・対策立案の進め方について了承を得た。

<議事内容>

【委員】

- ・甲府昭和 IC の出入りの際に本線に短い区間だけ合流する必要はあるのか。交通渋滞や事故の原因になるのではないかと懸念している。

【事務局回答】

- ・甲府昭和 IC については、改良の経緯も含め勉強しながら、より良い改善について検討を実施したいと思う。

【委員長】

- ・路上駐車を排除するための対策だと思う。事務局側はデータ等の確認を行い、問題等があれば検討していただきたい。

【委員長】

- ・現状では自転車ネットワークはバラバラなので、ネットワークとして構築していただきたい。
- ・山梨県では車線の運用がうまくいっていない部分があるかと思うので、車線の有効活用を検討していただきたい。

●交通安全対策関係

<決定事項>

- ・6 箇所の交通事故多発箇所の追加と、1 箇所の事故危険区間の追加について了承を得た。

<議事内容>

【委員】

- ・オリンピックに向けて、マイカー利用の外国人観光客が増加すると考えられるため、外国人も視野に入れた交通安全対策をお願いしたい。

【事務局回答】

- ・標識への英語表示の追加等の対応は山梨県と合わせて行っている。交通安全についても今後対応していきたいと考えている。

【委員】

- ・取得したデータや作成したカルテを民間に公表して活用出来れば有効かと思うが、今後どのような取扱方針を考えているのか。

【事務局回答】

- ・現状では取りまとめた内容は全てホームページで公表している。カルテも今後まとめれば可能な限り公表する。
- ・データの取り扱いについては、確認した上で次回以降に報告を行う。

【委員】

- ・道路舗装は将来的に浸透式の水がたまらない道路に今後していくのか。

【事務局回答】

- ・ 舗装は今後も排水性舗装を取り入れていく方針である。

【委員長】

- ・ 現状で交通安全対策は基本的に平常時を主眼とした対策になっているが、今後は雨の日や休日といった少し状況が異なる場合についても検討をお願いしたい。
- ・ 道路交通法の改正により、通行区分違反等による自転車の取り締まりが強化されたため、自転車が車道を走行するようになった。この1年で大きく変わった部分なので、今後、検討していただきたい。

(委員会の状況)

